

## 公立大学法人秋田県立大学 教員募集要項

1. 職名及び人員 助教 1名

2. 所属 生物資源科学部 応用生物科学科 微生物機能グループ

3. 専門分野

微生物機能分野  
微生物機能グループでは、微生物機能を解明するとともに微生物機能の応用に関する研究・教育を展開しています。そこで、原核微生物の機能に関して、培養微生物群を対象とした分子生物学的研究を行った経験とゲノム解析研究に取組む素養があり、かつ関連分野の教育、地域貢献に意欲を持ってあたれる方を求めます。

4. 担当授業科目 以下の科目は全てその一部分を分担します。[学部] 化学・生物学実験II(生物系)、応用生物科学実験I、応用生物科学研究室実験、卒業論文、[大学院] 応用分子生命科学、生物資源科学演習、などです。

5. 応募資格

- (1)担当専門分野における博士の学位を有しているか、または取得見込みであること
- (2)担当専門分野に関する研究経歴を有し、学部生及び大学院生の教育・研究指導に積極的に取り組む熱意があり、地域貢献にも意欲をもっていること
- (3)国籍は問わないが、日本語が堪能であること
- (4)採用が決定した場合、確実に着任できること

6. 採用予定日 平成30年10月1日

7. 勤務条件等

- (1)身分 公立大学法人職員
- (2)給与 職位・業績・職務内容に応じた年俸制
- (3)勤務 裁量労働制
- (4)任期 5年の任期制（再任回数に制限はありません。）
- (5)定年 67歳

8. 応募書類

- (1)履歴書（本学所定の様式1による。＊）
- (2)研究業績書（本学所定の様式2による。＊） 学術論文は、①学術誌論文（査読付き）、②国際会議発表論文（査読付き）③その他に分類して記載のこと。また、主要なもの3編に○をつけること。
- (3)主要論文3編（コピー可）
- (4)これまでの研究、教育及び社会活動の概要（1000字程度）
- (5)教育に対する抱負（1000字程度）
- (6)研究・地域貢献に対する抱負（1000字程度）
- (7)応募者について意見を求めることができる推薦者2名の氏名と連絡先
- (8)科研費等外部資金獲得の実績がある場合は、過去5年間における獲得状況の一覧

注) ＊印：履歴書（様式1）及び研究業績書（様式2）については、  
ホームページ（<http://www.akita-pu.ac.jp/gaiyo/saiyo.htm>）をご参照下さい。

9. 応募締め切り 平成30年5月31日（木）必着

10. 選考方法

- (1)第一次選考 提出書類審査、学部選考委員会による面接
- (2)第二次選考 プレゼンテーション、役員による面接  
※面接の旅費等は自己負担となります。

11. 応募書類の提出先及び問い合わせ先

〒010-0195 秋田市下新城中野字街道端西 241-438  
秋田県立大学生物資源科学部応用生物科学科 中沢伸重  
TEL : 018-872-1585 (ダイヤルイン) E-mail : nnakazawa@akita-pu.ac.jp  
※封筒の表に「微生物機能研究分野教員応募書類在中」と朱書きし、簡易書留で送付して下さい。応募書類は返却致しません。

12. その他

本学は、女性の職業活動における活躍の推進に関する法律に基づき、女性活躍のための支援・環境整備に努めており、女性研究者の積極的な応募を歓迎します。  
(女性活躍推進行動計画：<http://www.akita-pu.ac.jp/gaiyo/pdf/joseikatsuyaku.pdf>)  
(子育て支援等行動計画：<http://www.akita-pu.ac.jp/kosodate/kosodate.pdf>)

**生物資源科学部応用生物科学科 微生物機能グループ  
助教 求める人材像**

応用生物科学科では、微生物から動物や植物に至るまで生物全般を対象に生命現象を解明し、生物資源をより高度に利用することを目指しています。

その中で微生物機能グループの各教員は特定の微生物群が持つ潜在的機能に着目した基礎と応用分野の研究を軸に、教育や地域貢献を進めています。近年、次世代シーケンサーやゲノム編集など、微生物研究技術の進歩は著しく、これら新技術を利用した微生物機能の基礎および応用研究は、今後も飛躍的に重要度を増すと考えられます。微生物機能グループが展開する研究は、応用生物科学科において今後も精力的に推進すべき最重要研究分野です。このため、分子生物学的手法を用いて研究した経験とゲノム解析研究に取組む素養があり、かつ学部生および大学院生の教育・研究指導に積極的に取り組み、地域貢献にも熱意のある人材を求めます。

## 応用生物科学科 大講座制グループ構成

基本方針：生物関連産業の発展に貢献できるよう、微生物から動物や植物に至るまで生物全般を対象に生命現象を解明し、生物資源をより高度に利用することを目指す。

### 応用生物科学科

#### 微生物機能グループ

##### 微生物の持つ機能解明とその応用

- ・放線菌からの抗生物質の探求と放線菌の持つセルラーゼ遺伝子の産業利用
- ・微生物が生産する D-アミノ酸と D-アミノ酸代謝関連酵素の機能解析
- ・腸内細菌の RNA による制御機構の解明とその応用
- ・家畜腸内細菌叢の網羅的解析と腸内有用菌増殖に関する研究
- ・環境に生息している微生物の利用や有用遺伝子の有効利用
- ・キノコの子実体形成の分子機構の解析とキノコ育種への応用

#### 分子細胞機能グループ

##### 動物の分子細胞生物学的基礎研究とその応用

- ・がん転移抑制と粘液ムチンの产生制御に関する研究
- ・ホルモン分泌細胞とがん検査薬に関する研究
- ・哺乳動物の発生機構の解明と家畜生産・再生医療への応用
- ・海洋生物の付着に関する分子機構の解明とイヌの毛色に関する研究

#### 植物機能科学グループ

##### 植物がつくる機能性物質の構造と機能の解明とその応用

- ・植物ホルモンの生合成制御に関する研究
- ・植物の水やイオン輸送体に関する研究
- ・植物が作る生理活性物質に関する酵素とその遺伝子の解析
- ・薬のもととなる植物由来の物質の探求とそれの化学合成による生産
- ・イネがつくる鉱物、ケイ酸ガラス形成機構の解明

#### 食品醸造グループ

##### 食品および酒類に関する研究とその応用

- ・食品に電流を流し加熱するジュール加熱技術の開発と実用化
- ・塩の味におよぼすにがり成分の影響
- ・食品素材の栄養・機能特性および加工適性を解明とその応用
- ・難消化性タンパク質プロラミンが多く含まれている低グルテリン米の有効利用
- ・原料米の精米により変動する清酒成分に関する研究
- ・難消化性米の有効利用に関する研究
- ・醸造酵母の機能解析とその応用